



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ドリコム

コード番号 3793 URL <http://www.drecom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内藤 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 後藤 英紀

TEL 03-6682-5700

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	5,676	16.1	514	—	450	—	417	—
28年3月期第3四半期	4,888	△13.2	△319	—	△322	—	△689	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 410百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △744百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	30.55	—
28年3月期第3四半期	△50.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	5,207	1,964	34.7	132.31
28年3月期	3,300	1,653	42.1	90.53

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 1,808百万円 28年3月期 1,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	7,900	20.9	670	—	560	—	500	36.58

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社グリモア
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	13,901,000 株	28年3月期	13,901,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	233,200 株	28年3月期	233,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	13,667,800 株	28年3月期3Q	13,657,542 株

みずほ信託銀行株式会社(以下「ESOP信託口」という。)が所有する当社株式233,200株(議決権の数2,332個)につきましては、上記期末自己株式数に含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成29年2月3日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明会資料については開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが属するインターネットサービス業界を取り巻く環境は急速な変化を続けております。内閣府が平成28年3月に実施した消費動向調査では、平成28年3月末のスマートフォンの二人以上の世帯における普及率は従来型の携帯電話の普及率を初めて上回り67.4%に達し、スマートフォンの普及は拡大の一途を辿っております。また、平成27年通信利用動向調査(総務省)によると、平成27年末時点で、スマートフォンを使用してインターネットを利用する人の割合は54.3%となり、スマートフォンはPCと並ぶ主要なインターネットデバイスと位置付けられています。このように、スマートフォンの急速な普及とインターネットデバイスとしての重要性が増していることを受け、インターネットサービス業界では、スマートフォン向けの新規サービスが次々と創出され、市場拡大と競争の激化が続いております。

こうした環境の下、当社グループはスマートフォン向けサービスの提供を主な事業と位置付け、既存サービスの拡充および新規サービスの開発に注力しております。主力事業のソーシャルゲーム事業では、既存ゲームの運用のほか、IPゲームに焦点をあてた戦略の下、新規IPソーシャルゲームの開発に経営資源を集中投下し、事業拡大に取り組んでおります。平成28年11月には、新戦略下での新作第1弾となる「ダービースタリオン マスターズ」をリリースいたしました。

広告メディア事業では、主力サービスである動画リワード広告「DreeVee」で、新たなマネタイズ手法の導入に取り組む等、事業拡大と収益性の向上の両面から、拡大傾向にある広告メディア事業の成長加速に努めました。

また、前述の両事業に加え、次世代の主力事業創出を目的とした新規サービスの開発・運用にも取り組みました。

業績面では、「ダービースタリオン マスターズ」がユーザーの支持を獲得し好調に推移した他、他社配信アニメ版権ゲームが国内外で引き続き安定的に推移しました。その他の既存ゲームにつきましても、リリースからの経年に抗い、収益に寄与しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,676,012千円(前年同期比16.1%増)となりました。利益面につきましては、営業利益514,420千円(前年同期は営業損失319,155千円)、経常利益450,457千円(前年同期は経常損失322,003千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益417,533千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失689,692千円)となりました。

①コンテンツサービス

他社コンテンツゲームでは、既存の他社配信アニメ版権ゲームが、前四半期に引き続き、国内外で好調な推移を維持しました。また、平成28年11月リリースの新作ゲーム「ダービースタリオン マスターズ」が、ユーザーからの支持を得、広告宣伝施策の効果とあわせ、当初想定を上回る収益寄与となりました。オリジナルゲームにつきましても、イベント施策などによりリリースからの経年に抗い、収益に寄与いたしました。

なお、他社配信アニメ版権ゲーム2本の売上高については、配信会社からの一定の比率に応じた売上分配を得るかたちとなっていることから、売上への影響は相対的に小さいものの、支払手数料が無い場合、利益に与える影響が大きくなります。

以上の結果、セグメント売上高は4,852,904千円(前年同期比11.3%増)、セグメント利益は705,782千円(前年同期比616.1%増)となりました。

②広告メディアサービス

広告メディアサービスでは、主力サービスである動画リワード広告「DreeVee」のサービス拡充に注力しました。旧サービス「poncan」と比較し、拡大された「DreeVee」の顧客リーチを活かし、新たな業種の顧客開拓に注力したほか、新たなマネタイズ手法の導入に取り組む等、収益の拡大に向け試行しました。また、次世代の主力事業創出を目的に、新規サービスの開発・運用にも取り組みました。しかしながら、いずれの事業も事業開発段階にあることから、セグメント売上高は859,269千円(前年同期比26.6%増)、セグメント損失は182,624千円(前年同期はセグメント損失384,606千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,128,213千円となり、前連結会計年度末に比べ1,801,713千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が607,929千円、売掛金が547,848千円、仕掛品が502,607千円増加したことによるものであります。固定資産は1,079,737千円となり、前連結会計年度末に比べ106,189千円増加いたしました。これは主にソフトウェアが189,340千円増加したものの、繰延税金資産が108,017千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は5,207,950千円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,988,015千円となり、前連結会計年度末に比べ1,651,912千円増加いたしました。これは主に短期借入金が745,000千円、未払金が449,646千円、買掛金が188,232千円増加したことによるものであります。固定負債は255,587千円となり、前連結会計年度末に比べ55,352千円減少いたしました。これは主に長期借入金が48,238千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、3,243,603千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,964,347円となり、前連結会計年度末に比べ311,343千円増加いたしました。これは主に繰越利益剰余金が417,533千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は34.7%（前連結会計年度末は42.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後につきましては、引き続きスマートフォンの普及が拡大し、スマートフォン向けコンテンツ市場における競争の激化が予想されます。そうした環境下、当社グループは市場の急速な変化に対応し、多様化するユーザーニーズを捉えたアプリおよびサービスの開発に努めるとともに、既存サービスの運用、新規事業開発の両面において、事業部間での連携を促進し、各事業部の有する強みを融合させることでシナジーを高め、事業の拡大に引き続き注力してまいります。以上のことから通期の業績見通しは、売上高7,900百万円、営業利益670百万円、経常利益560百万円、親会社株主に帰属する当期純利益500百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、株式会社ReDucateを持分割合の変動に伴い連結の範囲から除外し、持分法適用関連会社に移行しております。また、当第3四半期連結会計期間において、当社連結子会社であった株式会社グリモアの全株式を譲渡したことにより、連結の範囲から除外しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,211,146	1,819,076
売掛金	958,041	1,505,889
仕掛品	16,580	519,187
繰延税金資産	20,073	49,546
その他	120,657	234,513
流動資産合計	2,326,499	4,128,213
固定資産		
有形固定資産		
建物	175,298	176,194
減価償却累計額	△91,382	△97,337
建物(純額)	83,916	78,856
工具、器具及び備品	53,420	58,154
減価償却累計額	△46,494	△48,140
工具、器具及び備品(純額)	6,926	10,014
有形固定資産合計	90,842	88,871
無形固定資産		
ソフトウェア	209,922	399,262
ソフトウェア仮勘定	142,369	147,134
その他	330	188
無形固定資産合計	352,622	546,585
投資その他の資産		
投資有価証券	99,421	98,244
繰延税金資産	263,379	155,361
その他	167,282	190,674
投資その他の資産合計	530,082	444,279
固定資産合計	973,547	1,079,737
資産合計	3,300,047	5,207,950

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	223,054	411,286
短期借入金	100,000	845,000
1年内返済予定の長期借入金	359,528	189,870
1年内償還予定の社債	150,000	-
未払金	383,951	833,597
未払法人税等	39,834	190,692
賞与引当金	12,500	29,851
その他	67,234	487,718
流動負債合計	1,336,103	2,988,015
固定負債		
長期借入金	190,278	142,040
資産除去債務	45,552	48,407
その他	75,109	65,139
固定負債合計	310,939	255,587
負債合計	1,647,043	3,243,603
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,196,638	1,196,638
資本剰余金	1,437,618	1,437,618
利益剰余金	△1,095,241	△677,707
自己株式	△149,968	△149,968
株主資本合計	1,389,048	1,806,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,931	2,134
為替換算調整勘定	△102	△354
その他の包括利益累計額合計	1,828	1,779
新株予約権	106,628	151,448
非支配株主持分	155,499	4,538
純資産合計	1,653,004	1,964,347
負債純資産合計	3,300,047	5,207,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	4,888,881	5,676,012
売上原価	3,688,112	3,570,061
売上総利益	1,200,768	2,105,950
販売費及び一般管理費	1,519,923	1,591,530
営業利益又は営業損失(△)	△319,155	514,420
営業外収益		
受取利息	225	71
受取配当金	-	1,579
受取分配金	10,777	1,514
請負受託料	-	3,500
その他	232	730
営業外収益合計	11,235	7,395
営業外費用		
支払利息	11,159	10,414
社債利息	2,410	510
持分法による投資損失	-	53,245
その他	514	7,188
営業外費用合計	14,084	71,358
経常利益又は経常損失(△)	△322,003	450,457
特別利益		
関係会社株式売却益	-	173,670
持分変動利益	-	47,563
特別利益合計	-	221,233
特別損失		
減損損失	359,176	-
特別損失合計	359,176	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△681,180	671,691
法人税、住民税及び事業税	30,322	181,944
法人税等調整額	32,653	78,455
法人税等合計	62,975	260,399
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△744,156	411,291
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△54,463	△6,242
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△689,692	417,533

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△744,156	411,291
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	202
為替換算調整勘定	-	△620
その他の包括利益合計	-	△418
四半期包括利益	△744,156	410,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△689,692	417,484
非支配株主に係る四半期包括利益	△54,463	△6,611

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ サービス	広告メディア サービス	計		
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	4,358,715	530,166	4,888,881	—	4,888,881
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	148,424	148,424	△148,424	—
計	4,358,715	678,590	5,037,305	△148,424	4,888,881
セグメント利益又は損 失(△)	98,557	△384,606	△286,048	△33,106	△319,155

(注) 1. セグメント利益の調整額△33,106千円はセグメント間の内部取引によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

コンテンツサービスにおいて、当初想定していた収益が見込めないため、一部の資産につき減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては359,176千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ サービス	広告メディア サービス	計		
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	4,852,904	823,108	5,676,012	-	5,676,012
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	-	36,161	36,161	△36,161	-
計	4,852,904	859,269	5,712,173	△36,161	5,676,012
セグメント利益又は損 失(△)	705,782	△182,624	523,158	△8,737	514,420

(注) 1. セグメント利益の調整額△8,737千円はセグメント間の内部取引によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。